

一步前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

あいさつ

「おはようございます」「こんにちは」
「ありがとう」「ごめんなさい」
いろいろなあいさつがあります。

さて、皆さんに質問です。あなたは、
今日朝起きて今までに「おはようござ
います」というあいさつを何回言いましたか。覚えてませんか。
家人の人や兄弟、登校時の見守等の方々、友達や先生…など、数多
くの人にあいさつしているのではないでしょか。

ところで、この「おはよう」のあいさつですが、皆さんはどんな気持ちで言っていますか？「あいさつしなさい」と家人の人や先生方に言わされているから、仕方なく言っていますか。言うと気持ちがいいから、自分から進んで言っていますか。それぞれだと思います。

不思議なもので、初めのうちは仕方なくあいさつしていても、だんだん習慣になり、当たり前のようにあいさつできるようになると、周りの人と温かい気持ちで関わることができます。あいさつは、人と人が関わるための大切な言葉なのです。

「おはようございます」「行ってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」・・・いろいろとあいつはあります。

どのあいさつも、相手の顔を見て、心を込めて言うと気持ちが伝わります。「ありがとう」や「こんにちは」は、笑顔で言うと、その後周りの人とうまく話がつながりますし、失敗をして謝る時、ふてくされて「ごめんなさい」と言っても、相手の人にそのことが分かるので、謝ったと思ってもらえません。つまり、あいさつは自分の気持ちを伝える大切な言葉なのです。

毎朝、生徒会の朝のあいさつ運動が各学級輪番で展開されています。学校でも家でも地域でも、是非、自分から相手に気持ちが伝わる声と言ひ方であいさつしてみましょう。

